

様子見に陥らず「比例は共産党」と最初から最後まで堂々と訴え抜こう

「京都一区のつどい」での渡辺和俊京都府委員長の訴えから

21日に京都で行われた「市民とつくる1区のつどい」(オンライン)での渡辺和俊・党京都府委員長の訴えから比例代表選挙の部分(大要)を紹介します。

最初にお話ししたいのは、比例代表選挙を中心にすえてたかかっていきたいということです。京都の比例の目標は30万票、1区の目標は6万票です。日本共産党と書いていただく票が1区で6万票まで広がれば、必ずこくたさん(衆院議員・党国対委員長)の議席を勝ち取ることができます。まずそのことをお願いしたいと思います。

日本共産党の議席を伸ばす一番の舞台は比例代表選挙です。北海道から九州まで全国どこでも共産党と書いてもらう票が広がれば広がるほど一票の無駄もなく、議席に結び付きます。「全国は一つ」、「近畿は一つ」、「京都は一つ」で日本共産党の得票を広げていただきたい。決して「共闘はどうなるんやろなあ」という様子見でなく、「比例は日本共産党」と最初から最後まで訴え抜きたいと思います。

いま日本共産党の衆議院の議席は12しかありません。衆議院の総定数は465です。そのうち比例で選ばれる議員は176人。日本共産党は11人です。もう一回前、2014年の衆議院選挙で日本共産党は21議席でしたが、そのうち比例で選ばれたのは20議席です。このように今、確実に日本共産党の議席を増やせるのは比例代表選挙です。

京都の30万の得票目標に匹敵するのは全国の目標は850万票、15%以上、近畿では180万票、20%以上です。前回、残念な後退となった2017年の総選挙でのわが党の得票は440万票、得票率7.9%です。2014年のわが党の比例得票は606万票、得票率11.37%でした。比例定数に11.37%をかけると20議席になります。ということは、850万票、15%をとれば単純計算で26~27議席になる勘定です。いま12議席でも、こくたさんを先頭にした活躍でこれほどの国会共闘の前進があります。これが20議席、26、27議席になれば国会共闘、野党共闘がもっと進むことは請け合いです。皆さん、ぜひ「比例は日本共産党」とお願いしたいと思います。



先ほどこくたさんが紹介された田畑喜八さん(日本伝統工芸士会会長)は、こくたさんの議員在職25周年記念の「織額」披露のつどい(写真)で「自分は比例は日本共産党に一貫して投票している」と言われました。伊吹さん(自民党衆院議員)も二階さん(自民党幹事長)もおられた目の前でした。私たちが飛び上がるほどびっくりしました。しかしこの方の思いは「共産党は一貫して戦争に反対してきた」ということです。京都民報に「比例は共産党」と言っていた方が次々登場されています。8月15日付では槌田劭(つちだ・たかし)さん(物理学者)が「自宅には立憲民主党の衆議院議員のポスターと並べて共産党比例候補のポスターを貼っている。共産党は野党協力を呼びかけ、護憲候補一本化に努力しておられます。その尽力に敬意を覚えるからです」と言っておられます。

保守の方々、小選挙区では他の野党候補を応援するというの方々、昔は自民党に投票していたという方々が、それぞれの思い、それぞれの体験を踏まえて共産党の値打ちを語っていただいている、「だから比例は共産党だ」と言ってくれている一共産党員の皆さん、後援会員の皆さんが自信をもって、堂々と「比例は共産党」「共産党のここが好きだ」ということを全国津々浦々のお知り合いに訴えていただきたい、そのことを第一にお願いしたいと思います。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 41(2021.8.22)